

川と海のつながりが育む 豊かな文化と生態系

趣旨

瀬戸内海は、海域に面している地域の人々だけでなく、流域の内陸地域に住む人々と一体となって保全することが不可欠です。しかしながら、内陸地域の人々は、瀬戸内海の保全について意識を持ちにくい現実があります。このため、内陸地域と瀬戸内海との関わりについて様々な側面から協議することにより、本海域の保全に対する意識を高めることが重要です。

今回のフォーラムでは、瀬戸内海沿岸部と内陸部それぞれにおける生活・文化、汚濁負荷などの諸課題に焦点を当てるとともに、川を介した森や海そして人々の生業との連環、さらには類似の課題を抱える琵琶湖の生態系について議論することとしています。京都は、古来より衣食住や文化において水域と深い関わりを持ってきましたが、閉鎖性の強い瀬戸内海と琵琶湖を比較することで、共通の課題やそれぞれの環境保全における新たな展開を模索していきたいと考えています。

主催：特定非営利活動法人 瀬戸内海研究会議
京都大学大学院地球環境学学

共催：瀬戸内海環境保全知事・市長会議
京都大学生態学研究センター
京都大学フィールド科学教育研究センター
総合地球環境学研究所

協賛：(公社)瀬戸内海環境保全協会
京都大学森里海連環学教育ユニット

後援：環境省、京都府、京都市
(公財)琵琶湖・淀川水質保全機構



日時 平成29年9月6日(水) 12:30-17:40

7日(木) 09:00-15:00

会場 京都大学百周年時計台記念館 2階 国際交流ホールⅡ,Ⅲ
(京都市左京区吉田本町 <http://www.kyoto-u.ac.jp/ja/access/>)

参加料等

フォーラム： 無料

懇親会： 下記 (会場：カンフォーラ)

【事前申込】一般参加：4,500円 学生：2,000円

【当日申込】一般参加：5,000円 学生：2,500円

(支払いは当日会場をお願いします)

参加申込(8月31日(木)締切)

氏名・所属・住所・電話番号・懇親会参加有無・身分
を明記、E-mail、FAX、郵送にてお申し込みください。

申込先・問い合わせ先

(特非)瀬戸内海研究会議事務局(担当：冨家)

〒651-0073 兵庫県神戸市中央区脇浜海岸通

1-5-2 人と防災未来センター 東館5階

瀬戸内海環境保全協会内

TEL 078-241-7720 FAX 078-241-7730

E-mail: web@seto.or.jp

<http://www.seto.or.jp/kenkyu/forum/kyoto>



9月6日（水）

受付 12:30-13:00

開会（挨拶・祝辞） 13:00-13:15

趣旨説明 13:15-13:25

運営委員長 藤井 滋穂（京都大学 教授）

第1セッション 13:30-15:30

都市をささえる景観：瀬戸内海国立公園から学ぶ

座長：阿部 健一（総合地球環境学研究所 教授）

- 都市と周縁の関係－京都から瀬戸内を考える

恵谷 浩子（奈良文化財研究所 研究員）

- かやぶきの里から未来が見える

高御堂 厚（南丹市美山観光まちづくり協会 まちづくり部 部長）

- 人と自然の新たな物語－想像力と構想力

山 泰幸（関西学院大学 教授）

- 総合討論

ポスター発表セッション 15:40-17:40

環境保全・創造に関する研究・活動報告

- ポスターフラッシュ口頭発表 15:40-17:00

座長：岡本 侑樹（京都大学 助教）

- ポスター前説明・発表 17:00-17:40

会場責任者：原田 英典（京都大学 助教）

総会 17:50-18:20

懇親会 18:30-20:00

9月7日（木）

第2セッション 9:30-11:30

生物生産からみた流域と沿岸域の相互関係

座長：山下 洋（京都大学 教授）

- 地下水と沿岸域生態系

- 見えない水の役割を考える-

杉本 亮（福井県立大学 准教授）

- 海と川をつなぐニホンウナギ

板倉 光（神戸大学 日本学術振興会特別研究員）

- 瀬戸内海東部における生態系構造の変化

山本 昌幸（香川県水産試験場 主任研究員）

- 流域の構造と水圏生物の生産

山下 洋（京都大学 教授）

- 総合討論

第3セッション 12:30-14:30

豊かな生態系の琵琶湖との共生を探る

座長：中野 伸一（京都大学 教授）

- 琵琶湖の水質保全の現状と新たな動き

早川 和秀（滋賀県琵琶湖環境科学研究センター 副部門長）

- 琵琶湖の底にあるちょっと変わった食物連鎖

中野 伸一（京都大学 教授）

- 水草の持続的利用による現代版里湖循環型社会の可能性

伴 修平（滋賀県立大学 教授）

- 総合討論

総括・閉会 14:30-15:00

- ポスター賞表彰

ポスター掲示 9/6(火) 13:00- 9/7(水)15:00

発表要旨・口頭発表ファイルの締切・ポスター掲示について

ポスター発表者

【要旨】

提出締切：8月4日（金）

- Microsoft Wordにて作成・提出

- A4：1枚（フォーマット詳細は、作成要領を参照）

【ポスターフラッシュ口頭発表ファイル】

提出締切：8月30日（水）

- Windows PC Microsoft PowerPoint 2010で表示できるファイルにて提出

- スライド枚数：合計5枚以内を厳守（タイトルスライド含め最大6枚）

- 動画及びMacの使用は不可

【ポスターのサイズ・貼付・撤収】

- 150×90cm(縦横)まで（A0など）

- 貼付作業日時：9/6（水）12:00-13:00

- 場所：国際交流ホールII

- 撤収作業日時：9/7（木）15:00

【発表時間など】

- 口頭発表時間：3分/題

- ポスター前発表：17:00-17:40

講演発表者

【要旨】

提出締切：8月9日（水）

- Microsoft Wordにて作成・提出

- A4：2枚（フォーマット詳細は、作成要領を参照）

【講演発表ファイル】

提出締切：9月1日（金）

- Windows PC Microsoft PowerPoint 2010

で表示できるファイルにて作成・提出

環境保全・創造に関する研究・活動報告

【P1-P10 (15:40-16:10)】

口頭発表：15:40-17:00 (3分/題)

- P1 古賀 佑太郎 (ひょうご環境創造協会)
揖保川流域における降雨時の窒素、りん負荷量の変動
- P2 鍋谷 佳希 (京都大学 大学院工学研究科)
琵琶湖・大阪湾における粒径315 μ m～5mmのマイクロプラスチックを対象とした微量有機汚染物質の含有量調査
- P3 中谷 祐介 (大阪大学 大学院工学研究科)
大阪湾の流動・水質構造の現況と埋め立てに伴う変遷
- P4 多鍋 耀介 (大阪大学 大学院工学研究科)
琵琶湖の水質変動特性に及ぼす気候変動の影響解析
- P5 高部 祐剛 (鳥取大学 大学院工学研究科)
下水処理場における電気分解を利用したリン回収に関する基礎的研究
- P6 Wahyudin (広島大学 大学院生物圏科学研究科)
Phosphorus cycles at oyster culture on spawning period in Northern part of Hiroshima Bay
- P7 林 美鶴 (神戸大学 大学院海事科学研究科)
実測データを用いた瀬戸内海・四国南方でのpCO₂時空間変動解析
- P8 和田 桂子 (琵琶湖・淀川水質保全機構 水質浄化研究所)
流域連携による琵琶湖・淀川流域の難分解性有機物に関する調査検討
- P9 西村 文武 (京都大学 大学院工学研究科)
柑橘類果樹園地からの栄養塩類負荷特性と灌漑ため池による低減効果
ー瀬戸内地方重信川流域を例としてー
- P10 日高 平 (京都大学 大学院工学研究科)
小規模下水処理場での嫌気性消化および消化汚泥の分解特性

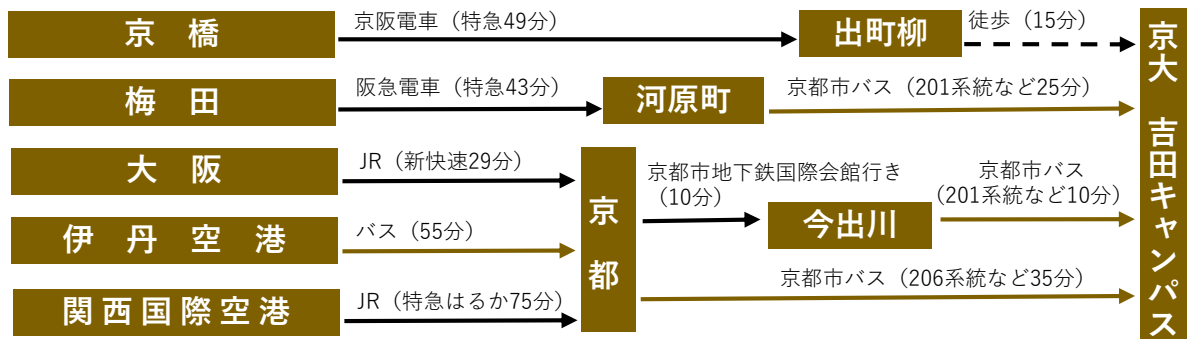
【P11-P17 (16:10-16:31)】

- P11 田中 佑一 (京都大学 大学院農学研究科)
リモートセンシングを用いた大阪湾から紀伊水道への溶存有機物の流出経路の推定
- P12 辻岡 雅啓 (徳島大学 工学部)
UAVを活用した希少種ルイスハンミョウ保全のための取り組み
- P13 石井 健一郎 (京都大学 大学院地球環境学堂)
大阪湾における微細藻類休眠期細胞の種組成と分布
- P14 高見 航 (京都大学 大学院工学研究科)
琵琶湖南湖の抽水植物群落における貴重植物分布と特定外来植物オオバナミズキンバイの拡大予測に基づいた重点監視区域の検討
- P15 Jamaluddin Fitrah Alam (広島大学 大学院生物圏科学研究科)
The forest-sea connection: Thinning timbers for maintaining forest enhance fish production in the sea
- P16 宮川 昌志 (香川県水産試験場)
海底耕うんの効果事例について
- P17 亀山 哲 (国立環境研究所 生物・生態系環境研究センター)
二ホンウナギ生息地の再生から見た森里川海の絆

【P18-P26 (16:31-16:58)】

- P18 矢野 司 (徳島大学 工学部)
地域の宝を守る ー人工海浜とルイスハンミョウの保護ー
- P19 原 雄一郎 (香川大学 経済学部)
香川大学直島地域活性化プロジェクト ー2016年度の取り組みー
- P20 角野 真優奈 (香川大学 法学部)
香川大学Bonsai☆Girls Project ー2016年度の取り組みー
- P21 保 奈於 (香川大学 法学部)
香川大学小豆島SAKATEプロジェクト ー2016年度の取り組みー
- P22 黄 琬恵 (京都大学 学際融合教育研究推進センター)
留学生の視点から見る日本の世界農業遺産のイメージ分析 ー和歌山県みなべ・田辺世界農業遺産を事例にー
- P23 加藤 彩季 (京都大学 大学院工学研究科)
国立公園内の小半島集落における土地利用状況と里山環境整備に関する考察
ー和歌山県田辺市島の半島集落の事例ー
- P24 中島 皇 (京都大学 フィールド科学教育研究センター)
原生的な天然林集水域(長期モニタリングサイト)における毎木調査(6年に1度)の教育的意義
- P25 梶谷 英樹 (兵庫県立西はりま特別支援学校・兵庫県立大学)
子供の主体性を尊重した海辺の環境教育への取組と成果
- P26 高田 弥生 (京都大学 大学院地球環境学舎)
京都北山景観の文化的価値を支える森林保全の現状

アクセス・キャンパスマップ



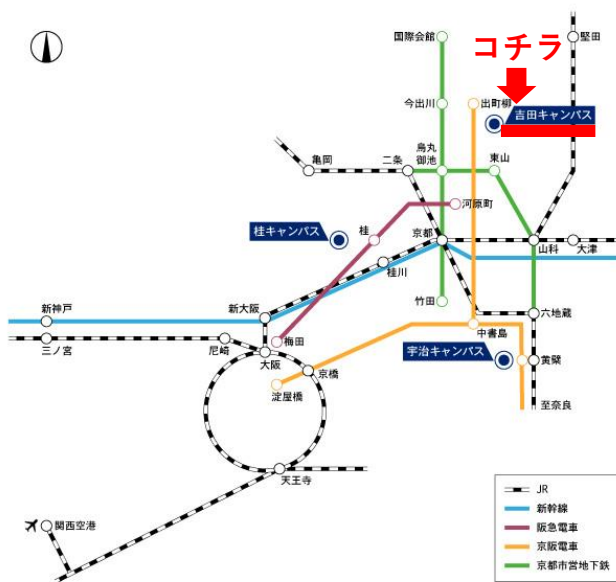
フォーラム会場

（京都大学百周年時計台記念館 2 階）

- 国際交流ホールⅡ（ポスター掲示）
- 国際交流ホールⅢ（講演会場および総会会場）

懇親会会場

- カンフォーラ



参加申込書

平成29年度 瀬戸内海研究
フォーラムin京都

氏名

TEL

所属

E-mail

フォーラム 参加

住所

懇親会 （参加・不参加）

身分（瀬戸内海研究会議会員・学生・一般）
（該当箇所に○印をおつけください。）

上記内容を、Eメール（web@seto.or.jp）等にて連絡願います。